



市民活動の新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地ですそ野を広げている。ファイザー製薬ではヘルスケア分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、昨年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれずに、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2000年度の助成対象となった各プロジェクト(下記参照)を中心に、7回連続(今回は6回目)でレポートする。

不登校や学習に障害を持つ子どもたちそれぞれに応じた学習機会を提供する

特定非営利活動法人 リベラヒューマンサポート(静岡県東部地区)

「リベラヒューマンサポート」が、年齢や障害の枠を超えた教育に取り組んで13年目になる。教育相談やカウンセリングを出発点に、「コミュニティスクール」「リベラスコラ」を設立。高校中退者や不登校児に再び学ぶ機会を用意し、大勢の卒業生を送り出してきた。そのほとんどが大学などへ進学し、次なるステップを踏んでいる。

現在も65名が通う「リベラスコラ」の教室は、実にアットホームだ。小学生から通信制に籍を置く大学生まで、生徒の年齢は幅広く、さながら大家族といった様子。不登校や高校中退といった「挫折」を経験したことが感じられないほど、彼ら・彼女らは明るい表情で学習に取り組んでいる。かつて高校で教鞭をとり、心理カウンセラーの資格も持つ三好悠久理事長



個人の学力に応じて学習プランを立てることで、基礎学力がしっかりと身についていく

長は、彼らの明るさについて、このように分析する。「精神的発達をベースに学習へアプローチすることで、子どもたちがそれぞれアイデンティティを確立していくか

らではないでしょうか。加えて、職員がカウンセリングマインドで、子どもを受け入れる余地がたくさんあるという点も大きいでしょうね」
では、精神的発達をベースにした学習とは、具体的にはどのようなものなのでしょうか。
「リベラスコラ」に通いはじめた当初、ほとんどの子どもたちは、他人に自分の気持ちや意志を伝えるという行為があまり上手ではないようだ。
「子どもたちには、まず『誰とでも話ができるようになる』『自分の気持ちを伝えられるようになる』『将来を自分の力で考えられるようになる』といった心の成長を促します。そのうえで、『ちょっと勉強してみようかな』と意欲が出てきたときにはじめて、具体的な学習プランを立てるんですよ。学業



働くことを通じて障害者やひきこもりの人の社会復帰を後押しする「リベラインダストリア」。受注も増えている



「リベラヒューマンサポートは豊かな人間関係を築く場所だと考えています」と話す三好理事長

	団体名および活動内容・主な活動地域
1	特定非営利活動法人 自立支援センターファイティ ショッピングセンターの機能を生かした福祉サービス 青森県下田町
2	社団法人やどかりの里 精神障害者の政策決定参画をめざした日加交流 埼玉県さいたま市
3	さいたま市精神障害者家族会「もくせい会」 コシスのための「ラウンジ南浦和」 埼玉県さいたま市
4	特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター チャイルドライン千葉「子ども電話」 千葉県
5	インフォシブ InfoSib (Information Service for Siblings) (Web site)
6	川崎水曜パトロールの会 川崎ホームレス保健プロジェクト「冬を生きぬき、春を呼び込め」 神奈川県川崎市
7	特定非営利活動法人 リベラヒューマンサポート 中等教育を補う「コミュニティスクール」の実現 静岡県東部地区
8	外国人医療センター 在日外国人に対する医療支援事業 愛知県名古屋
9	特定非営利活動法人 プレハブヒューマニティー 不登校児童・生徒の支援にかかわるセミナー開催事業 飯神地域
10	西宮心の健康協会 西宮モデルによる地域メンタルケア推進プログラム 兵庫県西宮市
11	地域療育研究会 在宅障害児療育活動の地域ネットワークの構築 山口県宇部市
12	障害を持ちながらも自立と納得のいく社会参加をめざすふれあいセンター 精神障害者のための「つどい」事業の普及活動 沖縄県



年齢や障害といった枠組みを超えて、さまざまな人間と日常をともにすることで、子どもたちの心の成長を促す

から離れた時期や期間も各自違つので、それぞれに応じた学習から始めていきます」

学習意欲や個性を重視しているのが、中学生でも小学校の勉強がわからなければ、その時点から始めることができる。それによって時間は多少かかっても基礎学力をしっかりと身につけることが可能なのだ。通信制高校を卒業するとさらに学ぶ意欲がわいて、生徒のほとんどが進学を志す。

通信制高校4年生の美智子さんも、そんな1人だ。

「ここに通つようになって自分を見つめ直すことができたし、目標も持てました。将来は私と同じ思いをした人た

ちの力になりたいと考えているので、心理学科に進みたいですね」

美智子さんに限らず、「リベラスコース」では進路は自分で決める。自分で考え抜いて決めた進路だからこそ、まっとうする。実際、進学してから挫折した卒業生はいない。

その一方で、「リベラスコース」では支えきれない、さまざまな障害をもつために社会復帰が難しい人たちからの相談が年々増えていたのも事実だ。そこで、障害者やひきこもりの人の自立と社会参加をサポートする労働施設「リベライндаストリア」を3年前に設立。受注も増えた現在は9名が汗を



写真上：和気あいあいとした雰囲気の教室内は家族のような
写真下：進学を志す生徒には専用の机も用意

ファイザープログラム 「心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援」 2001年度 募集要項

1. 募集期間：2001年7月2日～8月13日
2. 助成金：1件あたり300万円を上限とし、15件程度の助成を予定しています
3. 助成の期間：2002年1月1日～12月31日(1年間)とします
4. 対象となる分野：特に次のようなプロジェクトを重視します。
 - 1) 成長過程にある人たちの心身のすこやかな発達を支援する活動
おもに10代が抱える問題を克服し生きる喜びをもつことを助けるもの
 - 2) 社会的な受け皿がないために保健・医療を受けられない人たちの心身の保健・医療を支援する活動
外国人、路上生活者、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの人々を対象とするもの
 - 3) 障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動
身体障害、知的障害、精神障害などの人々、難病、長期療養にある人たちの社会生活を豊かにするもの
5. 問い合わせ先：
ファイザー製薬株式会社 企業文化室
03-3344-7524
応募要項はホームページ
<http://www.pfizer.co.jp> からダウンロードできます



よび学校、公的相談機関へ無料で年に6回配布している。

今後は、生活訓練ホームの設立やインターネットによる学習など、ひきこもりの人へのサポートについても強化していくことだ。

流す。将来的には「福祉工場」への発展をめざしている。

「ここにくる子たちが、自分のやりたいことは何かを理解していくなかで、学習でも仕事でも自分に合った道を見つけていければいいと考えています」

(三好理事長)

こういった一連の活動をより多くの人に知ってもらうために、昨年9月に機関誌「リベライポート」を発行。静岡県東部地区の市町村役場お